

宣言書

中華・中央アジア諸国連合憲法及びチベット国憲法の草案に関する宣言

本日、この日本の大地において、我がチベット国の最高指導者・ダライ・ラマ 14 世によって提唱されている、いわゆる「中道路線」への入門として執筆してきた「中華・中央アジア諸国連合憲法」及び「チベット国憲法」の草案を、まず、私個人の提案として正式に宣言致します。

「中華・中央アジア諸国連合憲法」は、中国人、ウイグル人、南モンゴル人、満州人、台湾人、香港人、マカオ人及び我がチベット人とが共有すべき「道」として、「チベット国憲法」は、我がチベット人同胞たちが共有すべき独自の「道」として作成したものです。

我々南モンゴル人、ウイグル人、チベット人は、約 70 年に渡って共産主義中国の支配下に置かれ、今や民族的な危機に直面しています。共産主義中国による真実の歪曲と植民地主義的且つ非文明的な政治のやり方はとうてい容認することができません。

我々が今日においても依然と共産主義中国による抑圧から脱出できていない理由の一つは、この 70 年に渡って「団結の力」を養えなかった点に要因があることを深く痛感しております。釈尊は、「自分は自分の救い主であり、自分は自分の敵でもある」と述べているように、我々は、単に「ウイグルに人権を」、「南モンゴルへの弾圧をやめろ」、「チベットに自由を」と叫ぶだけでは、本当の「変化」をもたらすことはできません。我々の救い主は、結局、我々自身です。

共産主義中国による植民地主義的且つ非文明的な政治体制と、日本や欧米など自由民主主義の政治体制は同時に存在したままでは、決して世界の歴史が進歩しません。現在、共産主義中国による植民地主義的且つ非文明的な政治体制の力が増殖し、世界規模で自由民主主義を破壊しています。

我々人類は、戦争や抑圧のない・平和な世界で暮らすことを望んでいますが、そのためには、慈悲、博愛、自由、民主、平等、公平、公正、法の支配など人類普遍的価値観に基づく政治体制を採用する以外に良い方法はありません。そして、平和な世界で暮らすためには、これらの普遍的価値観を 24 時間体制で守り、支えていかなければなりません。そのための前提条件は、独裁と隷従、圧迫と偏狭など腐敗した政治の力を地上から永久に駆除することです。

従って、この二つの憲法の案は、我々の団結の力を強めるための一石となり、中国の再生及び共産主義中国の支配下で苦しんでいる我々の自由を取り戻す運動の新たな力になることを切望しております。同時に、共産主義中国の脅威から慈悲、博愛、自由、民主、平等、公平、公正、法の支配など人類普遍的価値観を守り、支えるための新たな力になることを心より期待しております。

2020 年 8 月 23 日
チュイデンブン